

杉山空良さん（設計）  
辻里美さん（論文）に

大阪電通大建築学科  
合同制作展講評会

大阪電気通信大学工学部  
建築学科は2日、合同制作  
展2023「渦」の会場・

大阪市中央公会堂（大阪市  
北区）で、4年生が集大成  
として制作した設計作品と  
論文の講評会を開いた。写真  
（大阪電気通信大学提  
供）。審査の結果、設計部  
門で杉山空良さん（北澤誠



男准教授研究室）の「誰かの標—新天地商店街から紡ぐ記憶—」、論文部門で辻里美さん（添田晴生准教授研究室）の「BIMにおけるCO<sub>2</sub>排出量の簡易定量化手法の検討」がそれぞれ最優秀賞に選ばれた。

講評会では、4月に開設する建築・デザイン学部空間デザイン専攻に就任予定の教員らも審査に加わった。審査員は事前に全作品の中から数人を選出。プレゼンテーションを行った学生らに、設計意図や研究内容などを確認し、入賞者を決めた。

審査員から「全体的に昨年よりも格段にレベルアップしている」「内容は素晴らしいが、第三者に伝える強い意志も必要」「新学部の開設でさらなる躍進を期待したい」と総評があった。

建築学科1期生（18年度入学）の大学院工学研究科建築学コース2年生が、同窓会である電建会を代表し入賞者に副賞を手渡した。

本年度は建築学コースの修士設計オープンジュリーを初開催。ゲストに角田暁治京都工芸繊維大学教授と伊藤仁志日本設計理事が招かれ、華やかな展覧会となった。学生らは両氏から学術的・実学的な観点でさまざまなアドバイスをもらっていた。